



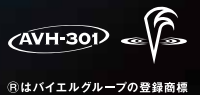
ボデーガード[®]

1キロ粒剤

2成分。白く枯らして、**稲を守る。**



ボデーガードは頼れる水稲用一発除草剤。
2成分で、しぶとい雑草にも有効。
白く枯れるから、効果がひと目でわかる。



®はバイエルグループの登録商標

幅広い殺草スペクトラムで、SU抵抗性雑草(ホタルイ、アゼナ類、コナギなど)、
難防除雑草(オモダカ、クログワイなど)、特殊雑草(イボクサ、アシカキなど)にも有効です。



ノビエ



コナギ



ホタルイ



オモダカ



クログワイ



イボクサ



アシカキ

水稲用一発処理除草剤

ボデーガード®

1キロ粒剤

農林水産省登録：第22612号

有効成分：テフリルトリオン…3.0%
フェントラザミド…3.0%

毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく
毒物・劇物に該当しないものを指していう通称）



- 新規成分テフリルトリオンとフェントラザミドの2種混合の一発処理除草剤です。
- ほとんど全ての水田一年生雑草、多年生雑草に高い効果を示します。オモダカ、クログワイ等の難防除雑草に対しても有効です。
- 問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草、ならびにイボクサ、クサネム等の特殊雑草に対しても有効です。
- 約40～50日間の残効が期待でき、通常の圃場条件下では、一回の散布で雑草を防除できます。
- 水稲に対する選択性が高く、通常の圃場条件下では安心して使用できます。（砂質土壌や漏水田での使用はさけてください）

適用雑草と使用方法

(2018年8月現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ クログワイ、オモダカ エゾノサヤヌカグサ シズイ、コウキヤガラ	移植時	1kg/10a	本剤 1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで		テフリルトリオン 2回	湛水散布 または 無人ヘリコプター による散布
直播水稲	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ ミスガヤツリ、ウリカワ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで	フェントラザミド 1回		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

目安となる処理時期

使用時期は、ノビエ3葉期まで、ただし、移植後30日までです。一発処理の目安を日数で示しました。ノビエ発生状況を確認して散布してください。散布に際しては水の出入りを止め、十分な湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面の露出がないようにしてください。

北海道・東北	代かき	田植	7日	15日
	散布適期 (ノビエ3葉期まで)			
北陸・関東・東海	代かき	田植	7日	12日
	散布適期 (ノビエ3葉期まで)			
近畿・中国・四国、 九州(早期)	代かき	田植	10日	15日
	散布適期 (ノビエ3葉期まで)			
近畿・中国・四国、 九州(普通期)	代かき	田植	7日	10日
	散布適期 (ノビエ3葉期まで)			

ごくまれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。砂壌土や早期栽培地帯では、薬害のおそれがあるので、稲の活着を待ってから本剤を処理してください。

注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲についてはノビエの3葉期までに、直播水稲については稲1葉期からノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、エゾノサヤヌカグサ、ウリカワは2葉期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示しませんので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。また、オモダカ、クログワイ防除は、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上します。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で、まきむらが生じないように散布して下さい。また、極端な浅水や深水での使用はさけて下さい。
- 無人ヘリコプターで散布する場合は、以下の注意を守って下さい。
 - ① 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
 - ② 専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
 - ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
 - ④ 散布薬剤の飛散によってほかの植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布して下さい。
 - ⑤ 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行なって下さい。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および種付作業は丁寧にやって下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧にやって下さい。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）
 - ② 軟弱苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさけて下さい。
- 処理後に著しい低温が続くことが予想される場合は、生育抑制などの薬害を生じることがあるため処理時期を遅らせて下さい。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけて下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがありますので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意して下さい。
- 蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



JAグループ
農 協 | 全 農 | 経 済 連

全農は登録商標 第4702318号

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00
土・日・祝日を除く

(F-3022 18.08.IS)